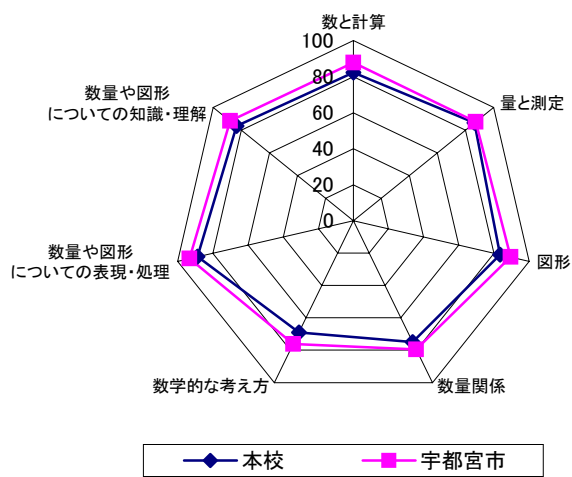


宇都宮市立宝木小学校第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	82.2	87.8
	量と測定	86.4	87.2
	図形	83.4	89.6
	数量関係	75.0	79.3
観点別	数学的な考え方	68.9	76.1
	数量や図形についての表現・処理	88.8	93.2
	数量や図形についての知識・理解	83.5	88.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (82.2%)	・小数の乗法と除法、小数のしくみ、小数の乗法の文章題の正答率は、市平均正答率を下回った。小数に関する学習について低い結果になった。	・小数のしくみ、小数の乗法・除法など小数に関する既習事項を確認し、さらに補充問題を解くことを通して習熟を図る。
量と測定 (86.4%)	・三角形の面積やひし形の面積に関する設問の正答率は、市平均正答率を下回ったがひし形の面積に関する設問の正答率は、市平均正答率を下回った。	・図形の面積を求める問題は、公式を利用するのに必要な長さを正しくとらえ、公式を利用して正確に求められるように、練習問題を解くこと通して習熟を図る。
図形 (83.4%)	・三角形の角や平行四辺形やひし形に関する設問、平行四辺形の作図に関する設問の正答率が、市平均正答率を下回った。	・三角形やいろいろな四角形定理や性質について復習し、練習問題を通して理解を図る。平行四辺形の作図については、三角定規や分度器を使った書き方を再度確認し、習熟を図る。
数量関係 (75.0%)	・計算のきまりに関する設問の正答率は、市平均正答率を下回った。	・計算のきまりを確認復習し練習問題を解くことで習熟を図る。計算の基礎が不十分な児童には、つまづきを取り除くように個別指導をする。